

令和八年度北上市立博物館特別展

月山降臨

—— 最古の月山紀年銘刀を追う ——

会 期
10月17^土日~12月20^日日

会場:北上市立博物館本館展示室

無料公開日 ▶ 10月17、18、31日、11月1、3日

※休館日 10月19、26日、11月2、4、9、16、24、30日、12月7、14日



北上市立博物館

岩手県北上市立花14-59
お問合せ ☎0197-64-1756

開館時間

9時~17時(最終入館16時30分)

観覧料金

一般500円、高校生240円、小中学生170円

※奥州市、金ヶ崎町、北上市、西和賀町に居住する小中学生は無料
※共通観覧券、団体割引あり。詳細はお問合せ下さい。

協力:月山日本刀鍛錬道場、舞草刀研究会、中鉢美術館、えさし郷土文化館、全日本刀匠会



museum@city.kitakami.iwate.jp

最新情報はホームページかXで

北上市立博物館

検索



X

岩手県指定文化財 刀「月山 應永三年八月日」(個人蔵)

月山刀の魅力

月山刀は、東北を代表する古刀(江戸時代より前の日本刀)の一つで、とても魅力的な刀です。その大きな特徴は、「綾杉肌」とも呼ばれる、波を打つような独特の地肌にあります。「綾杉肌」は、羽黒山五重塔を取り囲むように立ち並ぶ杉の木の新皮を表したものとされています。また、月山刀は、出羽三山で修行する人々のために鍛えられたと考えられており、信仰との結びつきが強い刀でもあります。

江戸時代の著名な俳人・松尾芭蕉も、出羽三山を訪れた際に月山の鍛冶について記しています。「……日出て雲消えれば湯殿に下る、谷の傍らに鍛冶小屋と云う有り、此国の鍛冶、霊水を書きてここに潔斎して剣を打つ、終に月山と銘を切りて世に賞せらる……」

この記述から月山刀が衰退して製作されなくなっていた江戸時代においても、その名が広く知られていたことがわかります。

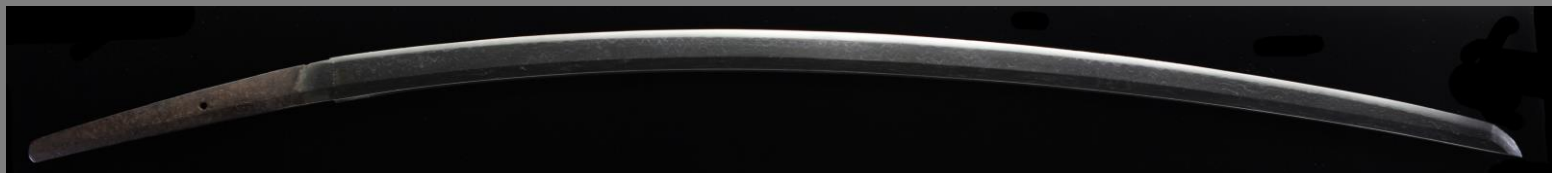
今回の展示では、市内に所在する県指定文化財の月山刀をはじめ、古月山、大阪月山派、薩摩古刀の波平、大坂新刀の但馬守宗次など、「綾杉肌」を特徴とする刀剣を紹介します。

さらに、月山刀と同じ東北の古刀である舞草刀、宝寿刀や、世界の刃物の中から地肌の文様を特色とするクリス刀なども展示し、それぞれの文様と月山刀の「綾杉肌」との違いについても解説します。

刀剣の表面に現れる「綾杉肌」のような文様は、刀を鍛えることによって生まれる「鍛え肌」と呼ばれるものです。

この展示を通して、さまざまな刀剣に現れる「鍛え肌」の美しさと、それぞれの違いを楽しんでいただければ幸いです。

月山刀工の故地である山形県西村山郡河北町谷地からみた月山



岩手県指定文化財 刀「月山 應永三年八月日」(室町時代初期) ※形態は太刀であるが銘は差表銘＝刀銘となっている

関連イベント

参加
無料

①講演会

「月山鍛冶800年の伝統を受け継いで」
月山 貞伸氏(大阪月山派刀匠)

日時 令和8年10月31日(土)
13時30分～15時

場所 北上市立博物館本館多目的室

定員 50名

※要予約:予約は10月23日(金)9時より電話にて

現代に生きる月山刀工である月山貞利・貞伸両刀匠の作品も期間中展示しています

②刀剣研ぎ実演とギャラリートーク

菊池 真修氏(美術刀剣研磨師・舞草刀研究会顧問)

日時 令和8年11月7日(土)
13時30分～15時30分

場所 北上市立博物館本館多目的室

定員 なし ※予約不要

ACCESS MAP



問合せ先 北上市立博物館

〒024-0043 岩手県北上市立花14-59

☎ 0197-64-1756 FAX 0197-64-1860

✉ museum@city.kitakami.iwate.jp

●アクセス

JR北上駅からタクシーで約10分

東北自動車道北上江釣子ICから
車で約15分